



令和7年度 蒲刈小学校学習発表会 大成功!! (~学習発表会特集号~)

11月15日(土)に蒲刈小学習発表会を実施しました。今年度は「とどけよう ぼくたちわたしたちの感謝のステージ」をテーマに劇や合唱等により、豊かな表現を披露することができました。

1・2年生は、これまでの校区探検を通して、発見したことや気付いたこと、学んだことを歌や劇により、発表しました。事前の練習では、「もっと声を大きくした方がよい。」や「歌詞を間違えたから、次からは気を付けたい。」等、自分達の発表について、自分達で振り返り、よりよい発表になるように取り組みました。発表会后、自分達について、「大きな声が出せてうれしかった」や「がんばってよかった」といった思いをもつことができました。



1・2年「くじらぐも～まちたんけんへ ゴー」～

1・2年生は、発表の中で紹介した場所以外にも、向の「春日神社」、「であいの館」、「下蒲刈保育所」、下蒲刈地区の「ブルーベリーファーム」、広図書館等を訪問し、蒲刈小を中心に活動の場を広げています。学校で学んだことを校外で活かすとともに、校外で学んだことを学校で活かす取組になっています。

「風の電話」は、3・4年生が発表会で紹介していたように「東日本大震災をきっかけに岩手県大槌町の丘の上に設置された、電話線のつながっていない黒電話」です。受話器を通して心の中で話したり、亡くなった大切な人に思いを伝えたりするための場所で、絵本や映画化もされています。

3・4年生は、総合的な学習の時間や学校行事、教科(社会科「呉東消防署蒲刈出張所見学」等)で学んできた防災教育の内容を家族や地域の方々にも発信したいとの願いから、今回の発表になりました。

市役所危機管理課の方から、自分達の取組について助言を受けた際には、その言葉を生かして、発表会のプレゼンを修正しました。また、11月5日(金)に実施した「小中合同避難訓練」(自衛隊広島地方協力本部呉地域事務所協力)において体験した「ロープワーク」や「身近な道具による担架づくり」を通して、「災害が起きた時に習ったことを役立てたい」といった思いをもつことができ、子ども達の防災意識を深めることができたようです。こうした学びを発表会で紹介することで、保護者や地域の方々の防災意識をも深めることできたように思います。



3・4年「風の電話～大切な命を守るために～」

令和7(2025)年は、昭和40(1965)年「日韓基本条約」が締結されて、60年の節目の年になります。蒲刈小5・6年生が毎年身近に感じてきた「朝鮮通信使行列」について、これまでの知識だけでなく、調べ直し分かり直すことで、分かってきたことを基に、ナレーションや台詞等を考え、劇の内容を構成していきました。

5・6年生は、朝鮮通信使について理解していることから、台詞や動きを確かめる中で、保護者や地域の方々に内容がより伝わるように、表現力に磨きをかけていきました。地域行事でも披露した「ふるさと蒲刈太鼓」を演奏する等、学校のリーダーとして活躍していました。

どの学年も、「実際にその場を訪れ、見学先の方々とのやり取りや対話を体験すること」や「専門的な知識をもっている方から直接話を聞いたり、対話したりすること」を通して、多くの気づきや発見が生まれています。そうした気づきや発見を学校へ戻って、振り返って表現(発言、文章、絵や図等)し合うことで、自分たちにとって「大切なこと」が

明らかになっていきます。その「大切なこと」を学校全体や地域の方々に発信することで、子ども達にとって「大切なこと」がより強く記憶されていきます。さらに「大切なこと」の積み重ねにより、子ども達の心や頭の中で「大切なこと」が相互に繋がりが合い、響き合うことで剥がれることのない「学び」として残されていきます。こうしたことが、保護者や地域の方から寄せられたメッセージにも表れていました。

メッセージの一部を紹介いたします。

★発表会の内容について

「自分達の暮らす地域のお店のことを可愛く紹介してもらって、もし災害があったらどうやって身を守るのか真剣に一緒に考え、島の歴史を楽しく学べて太鼓にも元気をもらい、歌声に癒されました。」

「どの学年もストーリーの中に授業で学んだことを取り入れておられ、『へえ～、そうなんちゃ～。』と、学ばせてもらうことも多く、とても為になりました。」

★子ども達の表情について

「大きな声をだして一生懸命頑張っている姿を見て、お家でいっぱい練習してきたことが伝わってきました。…よくがんばって、キラキラしていました。」

「たくさんの人たちの前で緊張もあったと思いますが、自信たっぷりにセリフを言う姿はみんなかっこよかったです。」

また、頂いたメッセージの殆どに「ありがとう」や「感動」といった言葉が入っていました。子ども達の思いは、家庭や地域に届き、家庭や地域からの思いは子ども達へ再び届き、「感謝」が響き合っているようです。「ぼくたちわたしたちの感謝のステージ」を多くの方々に「とどける」ことができました。ありがとうございました。



5・6年「朝鮮通信使がやってきた」



5・6年「ふるさと蒲刈太鼓」



保護者・地域の方々からの声(メッセージ)(蒲刈小玄関の掲示板)